

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念は香港のロマンチックウォリアーが優勝

6月2日(日)に行われた安田記念(G I)では、香港から参戦のロマンチックウォリアー(駒6歳/C. シャム厩舎)が優勝、JRA・G I初勝利をあげました。外国馬による同レース制覇は、同じく香港のブリッシュラックが勝った2006年以来で通算4回目。鞍上のJ. マクドナルド騎手(豪)にとってはJRA初勝利(9戦目)となりました。

●横山武史騎手がJRA通算600勝を達成

6月2日(日)の3回東京2日・第3レースではドリームクルーズが1着となり、同馬に騎乗した横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)は、現役29人目となるJRA通算600勝(5153戦目)を達成しました。

●萩原清調教師がJRA通算700勝を達成

6月2日(日)の3回東京2日・第5レースではミリオンローズが1着となり、同馬を管理する萩原清調教師(美浦)は、史上59人目・現役10人目となるJRA通算700勝(延べ5729頭目)を達成しました。

●キングカメハメハとコントレイルが顕彰馬に選定される

2024年度の顕彰馬記者投票が行われ、キングカメハメハ(得票数143票/得票率81.3%)およびコントレイル(得票数152票/得票率86.4%)が、選定基準である「投票者数(記者176名)の4分の3(132票)以上」の票を獲得、顕彰馬に選定されました。顕彰馬は、中央競馬に競走馬登録があった馬のうち「競走成績が特に優秀であると認められる馬」や「競走成績が優秀であって、種牡馬又は繁殖牝馬としてその産駒の競走成績が特に優秀であると認められる馬」などを讃え顕彰するものです。今回の投票(記者1人あたり最大4頭まで投票可)は2003年4月1日から2023年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬が対象となっていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ラムジェットが東京ダービー(大井)を人気に応じて圧勝

新設された3歳ダート三冠の第二関門、東京ダービー(Jpn I、3歳、6月5日、大井、2000^円)は、3番手を進んだ単勝1.7倍で断然人気のラムジェット(三浦皇成騎手、牡、父マジステティックウォリアー)が、直線半ばで2番人気のサトノエビックを捉えて6馬身引き離し、ユニコーンSに続いて重賞2連勝。逃げた3番人気のアンモシエラが3着、シンメデージー(高知)が地方最先着の4着、ハビレは5着に敗れています。

●吉村智洋騎手(兵庫)が地方競馬ジョッキーズCSに優勝

5月30日に園田で2戦のポイント制で争われた2024地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップは、8、1着という成績の吉村智洋騎手(兵庫)が、同点ながら第2戦着順上位優先の規定によって総合優勝を果たし、2024ワールドオールスタージョッキーズの地方競馬代表候補騎手となりました。

●イゾラフェリーチェらが出走、6月12日の関東オークス(川崎)

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、6月12日、川崎、2100^円)は、傑出馬不在で混戦模様も、芝、ダート各1勝のイゾラフェリーチェ、アンデスピエント、メイショウヨシノ、ローリエフレイバー(大井)、プリンセスアリー(浦和)の順に有力視され、クリスマスパレードは初のダートが課題となりそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英ダービー～シティオブトロイが見事に巻き返す

第245回のG 1英ダービー(3歳牡牝、芝2410^米)が現地6月1日にイギリスのエプソム競馬場で行われ、後方でレースを進めたシティオブトロイ(牡3歳)が直線で内から鋭く伸びて2馬身3/4差で優勝しました。シティオブトロイはG 1フィリーズマイルの勝ち馬トウギャザーフォーエヴァーの産駒で、父は米三冠馬ジャスティファイ。昨年はG 1デューハーストS(芝1400^米)を含む3戦3勝で欧州最優秀2歳牡馬に選出。今季初戦となった5月の前走G 1英2000ギニーは9着でしたが見事に巻き返しました。

鞍上のR. ムーア騎手は、昨年のオーギュストロダンに続く連覇で英ダービー4勝目。管理するアイルランドのA. オブライエン調教師は同じく連覇となり、自身の持つ英ダービー最多勝記録を10に伸ばしました。

なお、この前日に同じエプソム競馬場で行われたG 1英オークス(3歳牝、芝2410^米)はエゼリヤ(牝3歳、父ドパウイ、愛D. ウェルド厩舎)が3馬身差で優勝。G 1初制覇を果たしています。

●G 1仏ダービー～ルックデヴェガがデビューから3連勝で戴冠

6月2日にフランスのシャンティイ競馬場で行われたG 1仏ダービー(3歳牡牝、芝2100^米)はR. トーマス騎手を背に先行したルックデヴェガ(牡3歳、父ロペデヴェガ、C & Y. レルネール厩舎)が残り300^米で先頭に立って2馬身差で優勝。昨年11月のデビュー戦(芝1800^米)と今年5月の条件戦(芝2000^米)からの3連勝で頂点に立ちました。